

## ユニバーサルサービスを実現するマルチ DSL ソリューション ReachDSL + (リーチ DSL プラス)

2006年8月2日

Zhone Technologies, Inc. (= Zhone 社, Nasdaq: ZHNE) は、長距離 DSL 技術 ReachDSL と高速 ADSL を一つのプラットフォームから提供可能とした ReachDSL + 製品をリリースしました。既にリリース済みの宅内モデム「ADSL/R 6381」との接続により、最新のマルチ DSL ソリューションを提供します。

ReachDSL + は、ADSL の弱点である長距離や低品質回線を ReachDSL での接続することにより克服、近距離回線では高速 ADSL のパフォーマンスを発揮する、究極の DSL 「マルチ DSL ソリューション」を実現しました。ReachDSL + のプラットフォームは、ポートの回線状況に応じて両 DSL 技術を自動で切り替えることができ、サービスプロバイダやエンドユーザは回線品質を気にする必要なくサービスを提供できます。

これまで DSL サービスの展開が困難であった地域へも、ReachDSL + によるユニバーサルなブロードバンドサービスを安価で容易に展開できます。

ReachDSL + 対応機種：

- ・ ReachDSL + サービスカード： 8975-B1-000
- ・ ReachDSL + モデム： 6381-A3-600 (100VAC)

関連製品：

- ・ DSLAM シャーシ： 8820-A2-500 (20 スロット) / 8620-A1-400 (4 スロット)
- ・ SCP マネージメントカード： 8429-B2-000

ReachDSL

長距離 DSL 技術 ReachDSL 最新の V2.2 では、上下最大 2.2Mbps の通信速度で、既存インフラ (電話回線) を利用して安価にネットワークの構築が行える ADSL の長所をそのままに、ADSL の欠点である長距離回線での通信も可能とするのが ReachDSL の最大の魅力です。また、ReachDSL は、総務省が主催した「全国均衡のあるブロードバンド基盤の整備に関する研究会」でもその実力が認められており、2010 年までに「ブロードバンド・ゼロ地域を解消」に向けての検討項目の中でも、不可欠な技術として位置づけられています。

Zhone 社について：

Zhone 社は、BLC (ブロードバンド ループ キャリア) システムの開発・製造を行っており、ファイバ、銅 (DSL 技術) などのアクセス回線を中心に、BLC 製品をワールドワイドに供給しています。

また、早くから EFM (イーサネット ファスト マイル) 技術に注目し、自社ブランド「EtherXtend」を掲げ、アクセス回線市場をリードする EFM ソリューションのマーケットリーダーです。

株式会社ジェイ・ティ・エス社について：

JTS 社は各種ネットワークメーカーの販売代理店として、Zhone 社 [www.zhone.com](http://www.zhone.com) の DSL 製品、Omnitron 社 [www.omnitron-systems.com](http://www.omnitron-systems.com) のメディアコンバータ製品、Compunetix 社の多地点音声会議システム、などを取扱っています。 また、海外企業の日本市場進出を支援するソリューション”Smart Japan Office”を提供しています。

JTS 社に関する情報は次のウェブサイトをご参照下さい：

[www.j-ts.com](http://www.j-ts.com)

お問い合わせは、以下までお願いいたします。

メールアドレス：[info@j-ts.com](mailto:info@j-ts.com)

または、

株式会社ジェイ・ティ・エス

小鷲 Tel: 045-781-4711